

園生活のしおり

(兼 重要事項説明書)



風の子保育園

【新入園児購入品】

	項目		金額
1	名札	進級時に1個	130円
2	着替え籠	卒園まで使う	1480円
3	集金袋	卒園まで使う	60円
4	引き渡しケース	卒園まで使う	50円
5	お便りケース	卒園まで使う	250円
6	健康の記録	卒園まで使う	340円
7	カラー帽子	卒園まで使う	1060円
8	雑費(レジ袋など)	入園時のみ	1000円

【年間負担金・全園児】

1	絵本	毎月配布	440円
2	食費(3、4、5歳児)	1食320円×保育日数	円
3	日本スポーツ振興センター	年額	240円
4	遠足	5歳児	実費
5	卒園文集	5歳児	実費

おおよその金額であり内容も変更となる場合もあります。

【用意する物 0歳児・ひかり 1歳児・ほし 2歳児・つき】

	項目	数	0歳児	1、2歳児
毎日の持ち物	エプロン	2枚	食事、おやつ時に使うので、服に染みこまない素材で マジックテープタイプのもの(ボタン不可)	
	ガーゼタオル	5枚	ミルクを飲むときに使いますので、飲まない人はいらぬ。	
	おしぼりタオル	2枚	離乳食が始まったら持たせる。	
	タオル	1枚		ループ付きタオル
	名札	1個		
	お便りケース	1	園で用意した物 (お便りを受け取ったら園に戻す)	
月曜日の持ち物	上掛け	1枚	タオルケット 毛布など	
	ベットパット	1枚	【お昼寝について】の9ページ参照 布団類を入れた袋 (エコバック) は週末まで預かる	
	防水シート	1枚	おねしょの心配な場合のみ	
	カラー帽子	1枚	家で使っている物	園で準備した物を購入
	置き靴 置き靴袋 (ビニール製)	1足	外を歩けるようになったら持ってくる 靴、袋 (ビニール製) 週末まで預かる	
毎日補充	紙オムツ	7枚	テープのついている方に、一つ一つ名前を書く	
	おしり拭き	1袋		
	着替え、肌着	5組	肌着は股にボタンのないもの	
	汚れもの袋	1枚	濡れた衣類などを入れるので、耐水性 (ビニール) のある縦型トートバッグ (柔らか素材)	

*おしり拭き、オムツ パンツの補充がない場合は園からの買い取りとなります。

(おしり拭き 200円 オムツ 30円 パンツ 250円)

*靴袋 布団袋 汚れもの袋は布製のものではなく 水に強いビニール製のものを用意してください。

【用意する物 3歳児・にじ組 4・そら組 5歳児・かぜ組】

	項目	数	内容
毎日の持ち物	リュックサック	1個	持ち物が入る大きさ（図参照）肩紐は太くて丈夫な物 肩紐の他にフックにかけられる紐がある 扱いやすい物
	タオル	1枚	ループ付きのタオル（30×70位）
	名札	1個	園で準備した物を購入
	汚れもの袋	1枚	濡れた衣類などを入れるので、耐水性（ビニール）のある縦型トートバッグ（柔らか素材）
	お便りケース	1	園で用意した物（お便りを受け取ったら園に戻す）
月曜日の持ち物	防水シート	1枚	おねしょが心配な場合のみ
	ベットパット	1枚	タオルケット 毛布など
	上掛け	1枚	【お昼寝について】の9ページ参照
	布団袋	1枚	布団類を入れた袋は週末まで預かる 自分たちで準備をするため、扱いやすい大きめのエコバック（ビニール製）を用意をする
	置き靴 置き靴袋	1足	靴 靴袋（ビニール製）は週末まで預かる
	カラー帽子	1枚	園で準備した物を購入
毎日	着替え	3組	汚れ物を持ち帰ったら、次の日に代替りの物を持たせる。
	紙オムツ	3枚	必要な方のみ
	おしり拭き	1袋	必要な方のみ

＊＊おしり拭き、オムツ パンツの補充がない場合は園からの買い取りとなります。
（おしり拭き 200円 オムツ 30円 パンツ 250円）

＊靴袋 布団袋 汚れもの袋は布製のものではなく 水に強いビニール製のものを用意してください。

＊リュックサックを使用します。

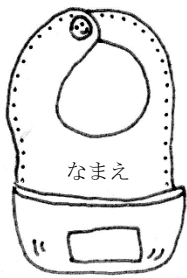
これまでの生活を土台に3歳以上児クラスは基本的な生活習慣の自立を目指していきます。
持ち物の管理や始末、身の回りのことは自分でできるようにしていきたいと思えます。

- ・登降園時には自分の持ち物は自分で持つ習慣をつけて 抱っこはせず、自分で歩くようにしましょう。
- ・送迎の際は保育室の出入りは可能ですが、子どもの生活を保障するため、
着替えの補充やコットの準備の時は 速やかに行うようにしてください。
- ・未満児の時に使っていたエプロン、おしぼりタオルは使用しません

【持ち物に名前をつけましょう】

- ・自分の物とわかるように名前とともにマークや目印をつけましょう。
- ・名前はひらがなで、消えないペンで書きましょう。
- ・お下がりや、いただいた物も必ず名前の訂正をして下さい。

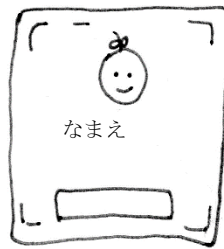
エプロン



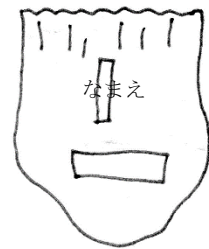
袋物



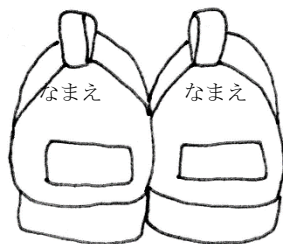
おしぼりタオル



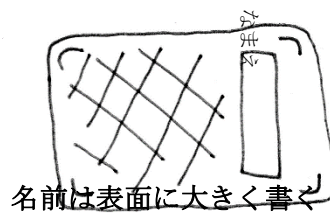
おむつ



くつ



敷物・上掛



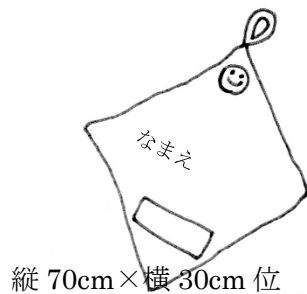
靴下



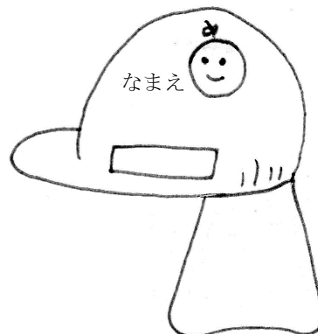
おしり拭き



タオル



ぼうし



リュックサック



【子供の服装】

十分に遊ぶ生活を基本とします。

- ・脱ぎ着のしやすい、汚れてもかまわない、活動しやすい服装
- ・汗、水、泥、食べこぼし、などで着替えますので数多く用意してください。
- ・フード付きの服は遊具などに引っかかったり、友達に引っ張られたりする危険がありますので避けて下さい。
- ・登園靴 置き靴（サンダル不可）は、足にあったサイズのもで自分で履きやすいものにして下さい。
- ・その他の着替えのない場合は、園の服を貸し出ししますので、洗って返却してください。

【食事】

- ・0歳児の一人座りの出来ない子どもは保育者の膝に抱っこして食べさせることから始め、2～6人のグループへと移行していきます。また 手づかみ食べを認め自分で食べたいという思いを大切にしていきます。
- ・アレルギー食対応をしています。
- ・お迎えが遅くなる場合 18時30分頃軽食（おやつ）を用意します。

【歯磨き】

虫歯をつくらないためには、夕食後の大人の仕上げ磨きとフッ素うがいが何より大切だそうです。

0、1、2歳児・食後にお茶や水、白湯を飲みます。

3歳児・・・水でうがいの練習をします。（コロナの感染対応のため現在は取り入れていません。）

4、5歳児・・・フッ素液でのうがいを毎食後します。

（フッ素うがいを希望されない方はお申し出ください。）

【排泄】

オムツのとれる時期は一人ひとり違いますので、自然にとれるように 保護者と連携を取りながら丁寧に行っていきます。

トイレに行くタイミングは自分の行きたいときにいくことを基本とします。

【嘔吐、便、血液、尿のついた衣類についてのお願い】

集団の中で嘔吐物、便、血液、尿などの汚れた衣類は、感染予防のため 洗わずにビニール袋に入れて対応させていただきます。

【裸足で過ごします】

足の発達や土踏まずの形成を考え、足の指を固定せずに自由に動かせるように裸足で過ごします。裸足でも安全に過ごせるように画びょうなどは使いません。

【置き靴】

遊びで濡れてしまうと降園時に履いて帰れないために、外遊び専用の靴を置いておき週末持ち帰ります。

（靴袋は防水性のもの）

【名札 カラー帽子】

卒園まで同じ色を使います。名札は毎日使うことで汚れたりしますので、進級時に新しい物を購入していただきます

2022 年度

ひかり組（0歳児）・・・黄色 帽子（個人の物）

ほし組（1歳児）・・・水色

つき組（2歳児）・・・青色

にじ組（3歳児）・・・黄緑色

そら組（4歳児）・・・緑色

かぜ組（5歳児）・・・藤色

【不必要な物は持ってこないようにしましょう】

大切にしている物を持ってきたことにより 壊れたり無くしてしまうなどのトラブルの原因となりますので 持ってこないようにしましょう。（シール キーホルダーなど）
「〇〇がないと不安になる」など特別な理由がある場合はご相談ください。

【タオル】

子どもが扱いやすい物を用意してください。（30×70位の大きさ）水遊びの時は体を拭くタオルとしても使います。

【連絡帳】

スマホ対応の連絡帳を使います。詳しくは別紙にて説明いたします。
（キッズリーで0.1歳児は個人の様子 2歳児からはクラスでの様子を伝えます。）

【ラッシュガード】

汚れを気にせず水遊びをするために着替えます。（4月より10月末ごろまで）園に置いておき 汚れたら園で洗います。着脱しやすいように大きめなもので 汚れても目立たない濃いめの色合いがおすすめです。

上着ラッシュガード・・・前あきファスナー 半袖（なければ長袖でも可能）

ズボン・・・水着用半パンツ

【合羽 3.4.5歳児】

雨の日でも外にでて過ごせるようにします。合羽は通年園に置いておきます。
ポンチョタイプなものは動きにくいので避け フード付きで 収納袋に入っているものを用意して下さい。

【水筒 3.4.5歳児】

水またはお茶を入れて持ってきてください。ストロータイプの飲みやすく扱いやすいものをご用意下

い。飲み切ってしまった場合は園で補充します。

【お昼寝について】

お昼寝は休息と捉え自然に入眠が出来るように見守ります。

- ・敷布団ではなく ベビーベット（0歳児 低月齢）や「コット」を使用します。

コットは

- 床のほこりを布団のようにすいあげることがない
- 汚れた場合水洗いが出来る
- 床とベッドの間に空気が入るので 夏は涼しく冬は暖かい
- 自分のスペースが確保され熟睡できる
- 保護者の方の荷物を減らす

- ・パジャマは使用せず清潔な衣服に着替えます。

ベッド用品

- 1 上掛け・・・・・・・・毛布 バスタオルなど、季節に応じてお持ちください
- 2 防水シート・・・・・・・・おねしょの心配な場合のみ
おねしょを防止し、コットを清潔に保つために使用します。
- 3 ベットパット ・・防水シートの上に敷きます。

***大きく名前を見やすい場所につけてください。**

ずれ防止のゴムがあるかご確認ください。

年齢によってサイズが違いますので注意してください。

コットのサイズ 0、1、2歳児 100センチ×60センチ
3、4、5、歳児 130センチ×60センチ



【コットのセッティングの仕方】

月曜日の朝（0、1、2、3歳児・・時間に余裕を持って登園してください）

- 1 コットに防水シート→ベットパット→上掛けの順でセットします。上掛けは四隅の穴をふさがないようにします。
- 2 シートのゴムはコットの足にしっかりと掛けてください。

- 3 セットしたコットを台車の上に重ねます。重ねる際には危険防止のため、ベッドの脚を下のベッドの穴にしっかりと差し込み、傾かないように平らにします
- 4 ベッド用品を入れてきた袋はお預かりしますので 所定の場所に置いてください

・・・セッティングをする場合は、必ず保護者の方のみで行ってください。



金曜日のお迎え時

- ・0、1、歳児・・・保護者の方が行ってください。
- ・2.3.4.5 歳児・・・子供たちが行いますので袋は扱いやすい物にしてください。

土曜保育を利用される場合は、コット用品は外さずにそのまま土曜に使用します。

*5 歳児は 小学校へ向けての準備として 1 月頃より徐々にお昼寝時間を少なくしていきます。

【保健衛生について】

入園当初は、不安や緊張で体調を崩しやすく（発熱、下痢、便秘、夜泣き、食欲不振など）指しゃぶりなどのストレス症状が表れたりすることがあります。保育園での生活に慣れるまで、温かく見守っていきたいと思います。

1 登園前は体調チェックをしましょう。

- ・熱は高くないか
- ・睡眠は十分にとれたか
- ・機嫌は良いか
- ・食欲はあるか
- ・便はどうか（下痢や便秘）
- ・湿疹 怪我 打撲などはないか
- ・目 耳 鼻は変わりないか（目やに 耳だれ）

～いつもと様子が違う時は 必ず職員に状態をお知らせください～

2 保育園ではこんな時に連絡いたします。

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------|
| ・37, 5度以上の熱が出た時 | ・病院へ行く程の怪我をした時 | ・下痢や嘔吐がひどい時 |
| ・感染症の疑いがある時 | ・体調の変化が大きい時など | |

***症状によってはお迎えをお願いすることもあります。**

職場を留守にするときや連絡先が変わるときは必ずお知らせください。

3 病気で休むときは症状をお知らせください。

前日 38度以上の熱があったときはお休みをして下さい。平熱となり 24時間過ぎ 登園時に 36度台であることが確認できた場合 受け入れたいと思います。

4 既往歴（喘息 熱性けいれん 心臓病など）またアレルギー体質の方は必ずお知らせください。

5 感染症について

登園許可証明書に記載されている感染症にかかった場合には、必ず園に連絡をしてください。医師の診察を受け、治るまで体を休めましょう。

治って登園する日に、医師からの登園許可証明書（用紙は園）や治癒証明書を提出してください。

6 年間保健行事について

前もっておたよりなどでお知らせします。健診（内科 歯科など）尿検査はお休みしないで受けるようにしてください。

7 毎日の健康状態の把握のために、体調、体温、などをお知らせ下さい。

登園時健康チェック表に毎日 記入をし 検温をします。

8 普段から清潔に心がけましょう。

- ・乳幼児は新陳代謝がさかんです。汗もたくさんかくので毎日入浴して皮膚を清潔に保ちましょう。
- ・爪が伸びていると思わぬ傷をつけてしまうので、短く切っておきましょう。
- ・長い髪はむすぶようにし、前髪が目に入らないようにしましょう。

9 怪我の報告 虫刺され すり傷などは こちらからの報告がない場合もあります。

子どもたちのいざごぎによる怪我で 病院に行かなくてはならない場合は双方の保護者にお知らせ

致します

10 予防接種を受けた日は家庭で様子を見てください。

十分注意をして保育を行っていますが、集団の中で日常おこりうる怪我についてはご理解ください。
(すり傷、切り傷、鼻血、こぶ、打ち身、かみ傷、ひっかき傷など)

【与薬について】

1. 与薬対象となる薬について

診察した医師が処方し調剤した物、又は医師の処方箋により薬局で調剤した物に限定をしております。
市販薬については対応できません。

2. 与薬の条件（子どもの状態）

- (1) 入院する必要がなく、容態が安定していること
- (2) 副作用の危険性や投薬量の調節等のため、医師や看護職員による経過観察が必要な容態でないこと
- (3) 内服薬については誤嚥（誤って気管に入ってしまうこと）の可能性、
座薬（熱性けいれんアナキラフィシーの予防対応）については肛門からの出血の可能性など、薬の使用法そのものについて専門的な配慮が必要でないこと

3. 持参時の留意点

- (1) 医師からの「投薬指示書」を投薬を要する日の初日に提出する。一度中断した薬を再度処方された場合であっても改めて提出をする。
- (2) 投薬する量は当日分のみとし、氏名をはっきりと記入し「投薬依頼書(園の書類)」と「調剤情報提供(薬局の薬の説明書)」を持参する。
塗薬の長期間使用の場合も 氏名をはっきりと記入し「調剤情報提供(薬局の薬の説明書)」と共に持参する。「調剤情報提供(薬局の薬の説明書)」については 週の始め(月曜日)に提出をする。
- (3) 座薬を使用する場合は、事前に職員との面接を行う。また医師の具体的な指示書が必要となる。

4. その他

*子どもへの与薬は、本来 保護者が行うべきものではありませんが、保護者の依頼に基づき保育園において薬を与える場合は、複数の保育士等で 重複与薬、人違い、与薬量の誤認、与薬忘れなどがないように細心の注意を払い対応しております。

朝 夕2回などの処方であると助かりますので 医師と相談をしてみてください。

ご理解とご協力をお願いいたします

*お子さんの体調が整わないとお仕事にも影響があるかと思しますので 病児保育をしている施設の利用も検討して見てください。

疾患名（登園許可証明書が必要）	出席停止期間基準（学校保健法施行令および施行規則による） 以下の基準に基づき、主治医が判断する。
インフルエンザ	発症後 5 日 かつ 解熱後 3 日を経過するまで
百日咳	特有な咳が消失し、全身状態が良好になるまで
麻疹（はしか）	解熱後 3 日を経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふく）	耳の下の腫れが消失するまで
風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が黒いかさぶたになるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消失して 2 日経過するまで
腸管出血性大腸菌感染症	医師によって感染の恐れがないと認められるまで
流行性角膜炎（はやり目）	医師によって感染の恐れがないと認められるまで
急性出血性結膜炎	医師によって感染の恐れがないと認められるまで
ウイルス性肝炎（A 型）	肝機能が正常になるまで
突発性発疹	解熱し全身状態が良くなるまで
RS ウイルス感染症	呼吸状態が消失し、全身状態良くなるまで
結核、髄膜炎菌性感染症	医師によって感染の恐れがないと認められるまで
A 群溶連菌感染症	抗生剤内服開始後 24 時間以上経過し、発熱、発疹が消失するまで
ウイルス性胃腸炎 （ロタ、ノロ、アデノ）	嘔吐、下痢が治まり普通の食事がとれるまで
マイコプラズマ肺炎	解熱し、咳が治まるまで
伝染性紅斑（りんご病）	発疹期には感染力がないため、全身状態がよければ登園可能
ヘルパンギーナ	発熱 口腔内の水疱なく普通の食事がとれる
手足口病	発疹が消失するまで
伝染性膿痂疹（とびひ）	患部を覆えれば登園可能 覆えない場合は皮膚が脱落するまで

	こんな時は休みましょう	登園できます
発熱	<ul style="list-style-type: none"> ・機嫌が悪い 食欲や活気がない ・37.5 分以上 ・24 時間以内に 38 度以上の熱があった ・24 時間以内に解熱剤を使った 	<ul style="list-style-type: none"> ・前日 38 度以上の熱がない ・朝は 37 度以下で機嫌も良い ・鼻水、咳の症状も良くなっている
咳	<ul style="list-style-type: none"> ・咳のため夜間に起きる ・連続して咳き込む 呼吸がつかう ・機嫌が悪い、食欲がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・連続した咳がない ・つかうな呼吸がない ・機嫌も良く食事もとれている
下痢	<ul style="list-style-type: none"> ・24 時間以内に 2 回以上の水様下痢 ・毎食後下痢になる ・朝に排尿がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・24 時間以内に水様下痢なし ・食事をしても下痢にならない ・排尿回数がいつも通り
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> ・24 時間以内に 2 回以上の嘔吐 ・食欲や活気がない ・吐き気があり、いつもより体温が高め 	<ul style="list-style-type: none"> ・24 時間以内に嘔吐がない ・食事をしても吐かない ・機嫌や顔色も良い
発疹	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱に伴って発疹もある ・口内炎で食事がとれない ・とびひの場合で 顔などで患部を覆えない 患部をかいてしまう じくじくし他児に感染の恐れあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医師の診察を受けた結果 感染の恐れなし、全身状態が良いと 診断された

【延長保育】

標準認定の方・・・18時～20時

短時間認定の方・・・7時～8時30分 16時30分～20時

通常保育時間（8時30分～16時30分）以外に上記の時間を利用される場合の費用は30分100円（1ヶ月6,000円を上限）となります。

【土曜日保育】

保育時間・・・7時～18時

原則として就労のため、家庭での保育が困難なお子様のみ、お仕事の間だけご利用になれます。土曜保育をご利用される方は 翌月分の申込書を前月の1日～20日まで提出していただきます。

・・・親子のふれあいが大切な時期ですので早めのお迎えをお願いします・・・

お弁当

土曜日は給食がありませんので、おかず入りのお弁当を持たせてください。

- ・当日の朝に作りましょう。
- ・冷蔵保存が出来ませんので、傷みやすい物はさけましょう（汁気の多い物、生もの、要冷蔵など）夏は低い温度設定の部屋で管理します。
- ・フルーツはおかずと別の容器に入れましょう。
- ・誤飲の心配のあるものは避け 小さくカットするなど工夫をして下さい。（大粒なぶどう ミニトマト こんにやくゼリーなど）

おやつ

- ・市販の簡単な物と飲み物を用意します。
- ・食物アレルギーの方は家から持参してください。

【送迎について】

- ・ 9：00 までに登園してください
- ・ 遅刻や欠席の場合は給食の準備の都合上、必ず 9：00 までに電話（8：30～）またはキッズリーで欠席理由を添えて連絡をして下さい。
- ・ 送迎にいらしたことを確認するために、玄関に入りましたらすぐに、キッズリーのチェック処理をしてからお入りください。延長料金が発生する場合がありますのでお子様に操作をさせないようご理解ご協力をお願いします。
- ・ お子さんの送迎は必ず保護者の方が行って下さい。都合で他の方をお願いする場合は、事前に連絡をしてください。事故防止のため、小・中学生の送迎は禁止します。
- ・ お迎えにいらした際には、必ず保護者の方が引き渡しカードを職員に渡し一声おかけください。
- ・ お子さんの朝の調子でいつもとかわった様子がある場合には必ずお知らせください。
- ・ 送迎時の入室は 1 家庭 1 名とし他の方は玄関でお待ちください。
- ・ 集金がある場合には、職員が金額を確認しますので、必ず事務室にて手渡してください。
- ・ 引き渡し後は、自動ドアの開閉の操作は大人の方が行い階段の昇降や飛び出し等の、安全管理をお願いします。
- ・ 車で送り迎えなさるときは保育園の駐車場をお使いください。
- ・ 駐車場の入り口から出口まで、一方通行になっていますのでご注意ください。
（セブン側が入り口となります。）
- ・ 車は園舎側からご利用ください。「軽」表記の場所もご利用くださってかまいませんが 接触事故に気をつけてください。
- ・ 降園後は遊ばずに速やかにお帰り下さい。
- ・ 駐車場では 車上ねらいの予防のために必ずロックし現金や貴重品は置かないようにしましょう。
- ・ 各クラスの出入り口付近のお知らせボードにて 掲示物がありますので 送り迎えの時に必ずご覧下さい。

【災害時の対応】

猛烈な台風による災害や 震度 5 強の地震があった場合は下記の対応を取らせていただきます。
(地震は NHK 総合、NHK ラジオ発表の千葉県北西部の震度を基準とします。)

保育中の場合

地震が起きた時点でお迎えに来て下さい。

キッズリーでの配信により 早めのお迎えのご協力をお願いします。

電話やメールなどの通信網の連絡がつかない場合 交通機関が混乱をしている場合もお迎えに
いらっしゃるまで責任を持ってお預かりします。

お迎えについて

災害時引き渡しカードをもとに引き渡しを行います。

カードに書かれている以外の方がお迎えに来る場合は 園と保護者の方と連絡が取れた場合のみ
引き渡します。連絡が取れない場合は当人同士が了承をしていますが、引き渡すことはできません。

保育時間外の場合

当日の朝、もしくは前日夜に地震などが起きた場合は 安全が確認され、電気が正常に届き保育に支障が
ない場合は行う予定です。

【その他の説明事項】

【事業者の運営主体及び施設の概要】

事業者名称	社会福祉法人 風の森					
理事長	石丸和人					
種別	保育所					
施設名	風の子保育園					
所在地	市原市潤井戸 2272-4					
電話番号・FAX	TEL: 0436-75-6700 FAX: 0436-75-6701					
園長	内山広美					
開設年月日	2018年4月1日					
利用定員（年齢別）	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	6人	15人	18人	20人	20人	20人
取り扱う保育事業	一時預かり事業 延長保育事業 子育て支援センター					

【施設設備の概要】

敷地面積						3356 m ²	
園舎	構造	鉄骨準耐火構造					建築面積 1033.06 m ²
	延床面積						1122.62 m ²
施設設備 の数と面積	乳児・ほふく室	2室					93.20 m ²
	保育室	2室					203.20 m ²
	遊戯室	1室					112.37 m ²
	調理室	1室					40.03 m ²
	調乳室	1室					2.99 m ²
	幼児用トイレ	3室					49.27 m ²
	事務・医務室	1室					46.26 m ²
	倉庫・資料室	4室					29.23 m ²
設備の種類	屋上園庭、冷暖房、電気錠、送迎用駐車場 21 台						
屋外遊技場	屋外遊技場					532 m ²	

【提供する保育内容】

保育理念	自分らしく過ごしながら、人との関わりの中で生きる力を育ていけるように
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して自分らしくいられる子ども ○自ら考え行動する子ども ○豊かな感性を持てる子ども

【職員体制】

職種	人数	職務内容
園長	1人	保育園の管理運営、苦情に解決
保育士	21人	保育計画に基づく保育家庭との連絡業務など。
栄養士	1人	子どもの栄養指導など。
調理員	4人	給食の調理など
用務員	2人	建物備品の保全管理など。
委託内科医	1人	内科検診
委託歯科医	1人	歯科検診

【施設の目的、運営方針】

目的	児童福祉法第 39 条の規定に基づき、子供たちが安心して過ごせる居場所をつくり、社会づくりに貢献できるような保育園を運営する。
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子供の権利を大切にし 心身ともに健康な人間性の基礎を育てる。 地域を含む保護者からも愛され信頼される保育園を目指す。

【保育を提供する日】

開園日	月曜日から土曜日
開園時間	月曜日から金曜日：7時から20時 土曜日：7時から18時
休園日	日曜日 国民の休日 12月29日から1月3日

【保育を提供する時間】

保育標準時間認定	保育時間：7時から18時 延長保育時間：18時から20時
保育短時間認定	保育時間8時30分から16時30分 延長保育時間：7時から8時30分 16時30分から20時

【利用開始】

支給認定を受け、市原市の利用調節に基づき当園に入園決定をされた後に 保育の提供の開始をします。

【利用の終了】

以下の場合には 保育の提供を終了

- ・園児が小学校に就学したとき
- ・保育の必要性の事由に該当しなくなったとき
- ・保護者からの利用終了の申し出があったとき
- ・その他 利用の継続について重大に支障または困難が生じたとき

【苦情相談窓口】

要望・苦情等に係る窓口を以下の通り設置します。

要望・苦情受付担当者	職：氏名	主任：石丸晴香
要望・苦情解決責任者	職：氏名	園長：内山広美

受付方法：面談 電話 文章などの方法により、相談 苦情を受け付けています。

【地域の育児支援について】

一時預かり保育の実施、子育て支援センターを開設をしています。

【緊急時の対応方法】

お預かりしている園児に病状急変などの緊急事態が発生した場合には、保護者の指定した緊急連絡先へ速やかに連絡を行います。また 委託医 お子様の主治医に相談するなどの措置を講じます。

【虐待防止のための措置に関する事項】

職員の園児への虐待防止のため、以下の措置を講じます。また虐待の疑いがある場合は関係機関に連絡をします

- ・年に1回虐待防止研修を実施
- ・虐待防止マニュアルの作成、運用

【非常災害時の対策】

防火管理者	内山広美
避難訓練など	火災や地震を想定した訓練を月に1回実施します。 総合訓練を年に2回実施します。
防災設備	自動火災報知機、煙感知器、誘導灯、消火器を備えています。
防犯設備	県警ホットライン、防犯カメラ等備えています。
避難場所	1次避難場所：園庭 2次避難場所：市が指定する避難場所